



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェブ

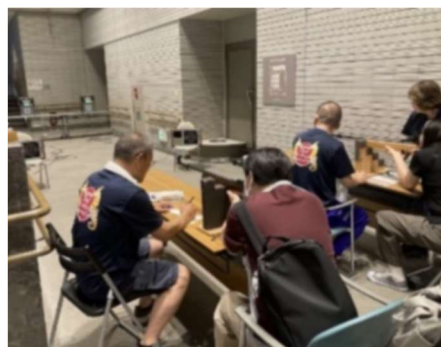
第217号

ラポールの祭典2025

開催しました



手話体験の様子



9月28日(日)、「ラポールの祭典2025」を開催しました。

当課では「きこえない世界をのぞいてみよう!」と題し、毎年好評の日本手話体験と、11月に開催される「東京2025デフリンピック」や情提事業に関するパネル展示、耳のきこえない陸上選手が使用する「スタートランプ」体験を行い、(一社)横浜市聴覚障害者協会と横浜市手話通訳者協会にご協力いただきました。光の合図で走り出す難しさと楽しさだけでなく、音のない世界で行われるスポーツがあることやデフリンピックという大会の存在を初めて知った方も多く、「日本代表のみなさんにはがんばってほしい」「今日覚えた手話で応援したい!」との言葉もたくさんいただきました。

また、今年はデフリンピック応援企画として、光線を使用する「ビームライフル」射撃体験を行い、(公社)日本ろう者ライフル射撃協会にご協力いただきました。

昨年の約160人を超える200人以上のお客様に「きこえない世界」をのぞいていただきました。

また、今年はリハセンターで「オープンデイ」が初の同日開催され、専門職紹介として手話通訳者を紹介しました。

来年も、「ラポールの祭典」でお会いできるのを楽しみにしています。ありがとうございました。



年末年始の休みについて

	12/28(日)	12/29(月)	12/30(火)	12/31(水)	1/1(木)	1/2(金)	1/3(土)	1/4(日)
職員	○ ラポールは休館	×	×	×	×	×	×	○ ラポールは休館
FAX 電話 メール	17:00 まで ○ LINEは×	×	×	×	×	×	×	9:00 から ○ LINEは×

※12月29(月)~1月3日(土)はFAX・電話・メール、LINE相談も使用できません

事業報告

第1回きこえない・きこえにくい社会人のための講座



8月24日(日)、標記講座を開催しました。この講座は就労や職場での人間関係について学び、情報交換を行うための場として開催し、当日は10人の参加がありました。

舘脇千春氏((一社)日本聴覚障害者ソーシャルワーカー協会会長)を講師にお迎えし、「きこえない・きこえにくい人達の「心の健康」を考える」をテーマにお話しいただきました。

後半は、グループワークで①日頃辛い・苦しい・悲しいと感じていること、②自分が心掛けているストレス解消法、それぞれを話すことで、他の参加者の話を聞いたりする様子が見られました。皆さんから「昔の自分と重なって

苛立ったが問題解決の道が見えてきた」「安定した気持ち」といった感想をいただきました。次回は12月12日(金)に、「職場でのコミュニケーション」をテーマに開催します。参加希望の方は、聴覚障害者相談員までお気軽にお問い合わせください。

課題別研修「医療」

9月6日(土)、標記内容で研修を行い、午前は全通訳者を対象に67人、午後は非常勤通訳者を対象に48人の参加がありました。午前には、身体障害者療護施設わかふじ園施設長の高畑訓子氏(社会福祉士・手話通訳士)に「スーパービジョン」について講義をいただきました。スーパービジョンの目的、手法を説明していただくとともに、コミュニケーションギャップについても触れられ、利用者とのコミュニケーションでも注意する点などお話をいただきました。長年、聴覚障害者とのかわり・実践から見てくる講師の視点や経験談に多く学びを得ることができました。



午後は、午前に学んだスーパービジョンの技法を取り入れ、各グループに分かれ、実践を行いました。最初はつい指導的になってしまいましたが回数を重ね、グループワークをおこなうことができました。通訳者からの感想では、来年度以降もグループスーパービジョンを実施したいという声もありました。



医療分野の通訳は基本的に通訳者1人で対応する現場です。グループワーク取り入れた研修は自分自身を振り返るにも有効であり、来年度以降も継続して実施してまいります。

要約筆記者現任研修会

9月10日(水)は手書き、パソコン合同で、東京都中途失聴難聴者協会理事長の宇田川芳江氏を講師にお招きし「要約筆記について考える」をテーマにご講義をいただきました。ご自身の経験や利用者である難聴者の心理、それを踏まえて要約筆記者はどう行動するのか等、事例検討も交えながらお話いただきました。参加者の感想を抜粋します。

「要約筆記者の役目は情報処理と対人支援であり、対人支援は音声認識にできないこととの言葉が心に残りました」「要約筆記者としての基本ルールは堅持しつつ、常に利用者の目的やニーズに沿う姿勢で対応していれば、いざというときも根拠のある解決策が見えてくるのではないかと思います」「利用する側の視点での具体的なエピソードの数々は興味深く、ユーモアもある講義で、もっとお話を伺いたかったです」

10月は手書きでは横浜市中途失聴難聴者協会にご協力いただき、手話を学ぶ「コミュニケーション教室」における要約筆記のやり方について再確認を行い、またパソコンでは講演会模擬通訳を行いました。今後も利用者視点を常に忘れずに研鑽していきます。

全体研修

10月11日(土)、設楽明寿氏(筑波大学大学院院生・筑波技術大学非常勤研究員/2017年サムスンデフリンピック陸上競技男子4×100mリレー金メダル)を講師にお迎えし、「ろう者の身体性とテクノロジーとの共存～デフスポーツやデフリンピック、今後の展望などを考える回～」のテーマでお話しいただき、手話通訳者100人が出席しました。

当事者としての経験やデフスポーツの話、AIや音声認識の技術と幅広く、参加者からは「手話通訳者としてはとにかく色々なことに興味を持って知識を蓄えていかなければならないが、情報過多の時代に正確な情報や知識の選択にも気を付けなければならぬと改めて感じた」、「聴者に合わせる考え方は自由ではない」。このことが新しい研究の発想やモチベーションにつながっているというお話が随所にあり、謙虚に研究に取り組んでおられるところに感銘を受けた」等々の感想が寄せられました。

今日テクノロジーなど技術が進化していても、通訳者にしかできない対人援助があることや、音声言語に含まれる抑揚など感情の表現は手話通訳者にしかできないなど、学びの多い研修となりました。

参加報告

全聴情協意思疎通支援研修

7月31日(木)～8月1日(金)の2日間、全聴情協主催の標記研修が名身連聴覚言語障害者情報文化センターで開催され、当情報提供施設より職員2人が参加しました。全国40カ所の情報提供施設から52人の職員が参加し、「改めてコーディネーターの役割について考える～聴覚障害者の意思疎通支援をめぐる最近の状況を踏まえて～」をテーマに講義・実践報告・グループ討議を行いました。

講義では、(一財)全日本ろうあ連盟副理事長、全聴情協理事長の中西久美子氏を講師に、当事者の立場からお話しいただきました。実践報告では、優生保護法における通訳派遣の取り組みや障害者差別解消法合理的配慮に関する事例報告等、聞くことができました。今後とも他の情提の動向に目を向けながら、事業を進めて参りたいと思います。

相談支援担当者研修会



10月2日(木)～3日(金)、全国聴覚障害者情報提供施設協議会(以下、全聴情協)主催の標記研修会が群馬県社会福祉総合センターで開催されました。全国からは28人、当施設からは職員2人が参加しました。

1日目は、精神保健福祉士の森せい子氏(東京手話通訳等派遣センター長)による「聴覚障害者のメンタルヘルス」をテーマに講演会、各施設での取り組みについて意見交換会が行われました。2日目は、ろう者の相談、相談支援の基礎知識について各グループワークが行われました。相談者を中心に考え、医療や福祉に関する正しい情報を得ながら伝えていく重要性を共有しました。

出展報告

横浜市聴覚障害者の集い



9月7日(日)、港南区公会堂にて、横浜市聴覚障害者協会主催の標記集いが開催されました。当施設のブースを設けさせていただき、来場者にチラシを配布するなど、事業利用の促進のため、周知を行いました。

今回は、東京2025デフリンピックに出場する選手の壮行会が開催され、事業団からは、「横浜マラソン」のチャリティランナーの皆さんから「障害者スポーツの普及・啓発」のためにいただいた寄付を原資とした奨励金が、当法人理事長から選手に渡されました。選手のみなさんの活躍を心から応援しています。

年末年始の緊急時について

年末年始は多くの医療機関が休診となりますので、各区にある休日急患診療所をご利用ください。
電話リレーサービス／ヨメテル（無休／24時間）を利用したの緊急通報や問い合わせが可能です。

機関名	FAX番号	電話番号	対応時間	手話通訳
横浜市消防局	119（横浜市内）	119	無休／24時間	○
神奈川県警察	0120-110221	110	無休／24時間	○
かながわ救急相談センター	045-242-3808	045-232-7119	無休／24時間	×
横浜市コールセンター	045-664-2828	045-664-2525	無休／8時～21時	×



（9月末までの累計）

■通訳者の派遣・紹介人数

内 容	手話通訳	要約筆記	合 計	昨年同月
医療・保健	2, 568	66	2, 634	2, 931
司 法	13	6	19	17
教育・保育	373	20	393	450
労働・雇用	229	1	230	318
社会生活	459	14	473	590
自己啓発	159	5	164	165
福祉推進	532	448	980	960
介護保険	884	19	903	1,065
他都市	26	0	26	43
合 計	5, 423	579	5, 822	6, 330
昨年同月	5, 644	686	6, 330	

■聴覚障害者の相談

相談事業	実件数	対応数
医 療	47	120
職 業	25	83
教 育	0	0
住 宅	19	32
生 活	177	320
福 祉	123	177
法 律	10	16
聞こえ	62	66
合 計	463	814
昨年同月	371	580

■通訳者の現任研修

手 話	回 数	参加人数
要約筆記	18	16

■映像・字幕制作

自主制作作品数	35
---------	----



- | | | |
|--|---|--|
| <p>9月</p> <p>4 聴覚障害者災害対策救援横浜市域本部会議出席</p> <p>6 手話通訳者課題別研修・連絡会</p> <p>7 横浜市聴覚障害者の集いブース出展
(港南公会堂)</p> <p>8 手話通訳者1年次研修</p> <p>9 相談支援研修Ⅰ(ウィリング横浜)</p> <p>10 要約筆記者現任研修</p> <p>17 出前講座(保土ヶ谷警察署)</p> <p>22 手話通訳者2年次研修</p> <p>22 衛生委員会</p> <p>24 健康学習会(新横浜)</p> <p>26 手話通訳者課題別研修(ブラッシュアップ)</p> <p>28 ラポールの祭典</p> <p>28 横浜市総合防災訓練参加(青葉区)</p> <p>30 要約筆記者1年次研修</p> | <p>10月</p> <p>30 出前講座(寺尾地域ケアプラザ)</p> <p>1 要約筆記者1年次研修</p> <p>1 健康学習会(新横浜)</p> <p>2-3 全聴情協相談支援研修会(群馬県)</p> <p>3 手話通訳者課題別研修(ブラッシュアップ)</p> <p>4 手話通訳者1年次研修</p> <p>7 要約筆記者1年次研修(手書き)</p> <p>8 要約筆記者現任研修</p> <p>10 健康学習会(上大岡)</p> <p>11 手話通訳者全体研修</p> <p>12 第24回全国障害者スポーツ大会結団式</p> <p>17 健康学習会(上大岡)</p> <p>18 手話通訳養成Ⅱ 講師派遣</p> | <p>23-27 第24回全国障害者スポーツ大会
「わた SHIGA 輝く障スポ」(滋賀県)選手団帯同</p> <p>23 出前講座(日下地域ケアプラザ)</p> <p>24 若年層出前講座
(フェリス女学院大学緑園キャンパス)</p> <p>25 きこえない・きこえにくい社会人の
ための講座・お仕事個別相談会</p> <p>27 衛生委員会</p> <p>28 手話通訳者課題別研修(ブラッシュアップ)</p> <p>30 出前講座(仏向地域ケアプラザ)</p> <p>31 若年層出前講座
(東京科学大学すずかけ台キャンパス)</p> |
|--|---|--|

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和7年10月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>